自己評価書・設計内容説明書【一戸建ての住宅用（木造）】

評価対象建築物の名称	
評価対象建築物の所在地	
設計者等の氏名	
評価者氏名	

―必須項目―　基準：評価方法基準による　特認：特別評価方法認定による　認定：住宅型式性能認定による　認証：型式住宅部分等製造者の認証による

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	記載図書	設計内容確認欄
1 構造の安定	1－1 耐震等級（倒壊等防止）	等級	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	構造躯体及び基礎等	地震力及び風圧力	□ 壁量計算による(階数が2以下の木造の建築物における基準) □ 許容応力度計算による(ルート1) □ その他　（　）	□ 仕様書 □ 伏図 □ 計算書 □ □	評価員記入欄 □
					基礎	□ 建築基準法の規定による □ 許容応力度計算による □ スパン表　（　） □ その他　（　）		
	1－2 耐震等級（損傷防止） □ 選択しない	等級			横架材	□ 許容応力度計算による □ スパン表　（　） □ その他　（　）		
	1－3 その他				免震建築物	□ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物 □ 免震層及び免震材料の維持管理に関する図書の作成		
	1－4 耐風等級 □ 選択しない	等級			認定書等活用	□ 認定書等の活用(第六面に記入)		
	1－5 耐積雪等級 □ 選択しない	等級		地盤（1－6）	地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	□ 地盤の許容応力度　［　kN/㎡］ □ 杭状改良地盤の許容支持力度　［　kN/㎡］ □ 杭状改良地盤の許容支持力　［　kN/本］ □ 杭の許容支持力　［　kN/本］ 地盤調査方法等 （ スクリューウエイト貫入試験 ） □ 地盤改良有 方法（　）	□ 仕様書 □ 調査書 □ 検討書 □ □	評価員記入欄 □
	1－6地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	設計内容説明欄と同様						
	1－7基礎の構造方法及び形式等			基礎（1－7）	基礎の構造方法及び形式等	□ 直接基礎　構造方法（　） 形式（　） □ 杭基礎　杭種（　） 杭径［　cm］　杭長［　m］	□ 仕様書 □ 伏図 □ □	評価員記入欄 □
	長期使用構造等確認を併せて申請する場合	評価方法基準以外の基準		長期使用構造等対応措置	耐震性能に係わる措置	□ 耐震等級(倒壊防止)等級2以上 ※壁量基準に係る経過措置の適用有の場合は等級3の基準に適合 □ 耐震等級(倒壊防止)等級1かつ応答層間変形角(安全限界変形角)1/40以下(限界耐力計算) □ 免震建築物	□ 構造計算書 □ 壁量計算書	評価員記入欄 □
3 劣化の軽減	3－1 劣化対策等級（構造躯体等）	等級	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	外壁の軸組等	外壁の構造等（地面から1m）	□ 外壁通気構造等(真壁構造で90cm以上の軒の出がある場合を含む) □ 製材、集成材等＋薬剤処理(現場処理可) □ 製材、集成材等＋小径13.5㎝ □ 製材、集成材等＋耐久性区分D1＋小径12.0㎝以上 □ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種 □ K3以上の薬剤処理(工場処理) □ その他　（　）	□ 仕上表 □ 仕様書 □ 立面図 □ 矩計図 □ 伏図等 □ □	評価員記入欄 □
				土台	防腐・防蟻処理	□ 土台に接する外壁下端水切り □ K3以上の薬剤処理(工場処理) □ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種 □ その他　（　）		
				浴室・脱衣室の防水	防水上の措置	浴室　□ 浴室ユニット　□ 外壁軸組等の防腐措置等 □ その他　（　） 脱衣室　□ 防水上有効な仕上げ　□ 外壁軸組等の防腐措置等 □ その他　（　）		
				地盤	防蟻措置	防蟻措置　〔 □ 有　□ 対象区域外 〕 □ べた基礎等　□ 土壌処理 □ その他　（　）		
				基礎高さ	基礎高さ	□ 地面から基礎上端又は土台下端までの高さが400mm以上		
				床下防湿措置等	床下地盤面の防湿措置	□ 防湿方法　〔 □ コンクリート　□ 防湿フィルム □ その他　（　）〕		
					床下換気措置	□ 換気措置　〔 □ 換気口　□ ねこ土台　□ その他 〕 □ 基礎断熱工法		
				小屋裏換気	小屋裏換気の措置	・ 小屋裏の有無　（ □ 有　□ 無 ） ・ 小屋裏換気設置の有無　（ □ 有　□ 無 ）		
				構造部材等	構造部材等	□ 建築基準法施行令第37条、第41条、第49条及び第80条の2の規定に適合		
				認定書等	認定書等活用	□ 認定書等の活用(第六面に記入)		
	長期使用構造等確認を併せて申請する場合	評価方法基準以外の基準		点検措置	床下空間	・ 床下空間への点検口の設置 □ 区分された床下空間ごとに点検口を設置	□ 平面図 □ □	審査員記入欄 □
					小屋裏空間	・ 小屋裏空間への点検口の設置 □ 区分された小屋裏空間ごとに点検口を設置		
					床下空間の有効高さ	・ 床下空間の有効高さ 330mm以上　（ □ 有　□ 無 ） ・ 点検に支障のない範囲で上記寸法に満たない部分の有無 ［ □ 無　□ 有（　）］		

自己評価書・設計内容説明書【一戸建ての住宅用（木造軸組・枠組壁工法）】

―必須項目―　　基準：評価方法基準による　特認：特別評価方法認定による　認定：住宅型式性能認定による　認証：型式住宅部分等製造者の認証による

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
4 維持管理・更新対策	4－1 維持管理対策等級（専用配管）	等級	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	専用配管	埋込み配管	□ すべての評価対象配管がコンクリート内に埋込まれていない	□ 仕上表 □ 配置図 □ 平面図 □ 基礎伏図 □ 設備図 □ □	評価員記入欄 □
				地中埋設管	埋設管上のコンクリート打設	・地中埋設管上のコンクリート打設 〔 □ 無　□ 土間コンその他のみ有　□ 対象区域外〕		
				排水管の性状等	内面の仕様	□ 排水管内面が平滑である		
					設置状態	□ たわみ、抜け等が生じないよう設置		
				専用排水管	排水管の清掃措置	□ 便所、その他水廻りに必要な清掃措置の確保		
				配管点検口	主要接合部等の点検措置	□ 主要接合部等の点検措置等の確保		
5 温熱環境・エネルギー消費量	5－1 断熱等性能等級（　）地域 □ 選択しない	等級 最高等級の場合に表示をするUA及びηACの表示値については設計内容説明欄と同様	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	適用する基準		□ 基準省令及び非住宅・住宅計算法 □ 住宅仕様基準 ※1 □ 誘導仕様基準 □ 国土交通大臣が認める方法	□ 平面図 □ 立面図 □ 矩計図 □ 建具表 □ 計算書 □ □	評価員記入欄 □
				非住宅・住宅計算方法又は国土交通大臣が認める方法	外皮平均熱貫流率	□ 外皮平均熱貫流率(UA値)の基準に適合 （　　W/㎡・K）		
						□ UA値の値を評価書に表示する ※2		
					冷房期の平均日射熱取得率	□ 冷房期の平均日射熱取得率(ηAC値)の基準に適合 （　　）		
						□ ηAC値の値を評価書に表示する ※3		
				住宅仕様基準・誘導仕様基準	外皮の熱貫流率の基準又は、断熱材の熱抵抗の基準	屋根　（　　） 部位の熱貫流率　（　　㎡・K） 部位の熱抵抗　（　　W/㎡・K）		
						天井　（　　） 部位の熱貫流率　（　　㎡・K） 部位の熱抵抗　（　　W/㎡・K）		
						壁　（　　） 部位の熱貫流率　（　　㎡・K） 部位の熱抵抗　（　　W/㎡・K）		
						床　外気に接する部分 （　　） 部位の熱貫流率　（　　㎡・K） 部位の熱抵抗　（　　W/㎡・K） その他の部分 （　　） 部位の熱貫流率　（　　㎡・K） 部位の熱抵抗　（　　W/㎡・K）		
						土間床等の外周部 外気に接する部分 （　　） 部位の熱貫流率　（　　㎡・K） 部位の熱抵抗　（　　W/㎡・K） その他の部分 （　　） 部位の熱貫流率　（　　㎡・K） 部位の熱抵抗　（　　W/㎡・K）		
					開口部の断熱性能等	□ 開口部の断熱性能等に関する基準の適合 □ 緩和措置有り □ 窓の断熱(2%緩和)　□ 窓の日射(4%緩和)		
				結露防止対策	結露の発生防止対策	□ 防湿層の設置(繊維系断熱材等を使用する場合) □ 設置　（　　） □ 省略　（　　） □ 通気層の設置(外壁・屋根を断熱構造とする場合) □ 屋根［ □ 有（　　） □ 省略（　　）］ ・防風層の設置　（　　） □ 外壁［ □ 有（　　） □ 省略（　　）］ ・防風層の設置　（　　）	□ 仕様書 □ 矩計図	
				長期使用構造等対応処置	外皮性能に係わる適合等級	□ 非住宅・住宅計算法による等級が等級6以上 □ 誘導仕様基準(等級5)	□ 仕上表 □ 平面図 □ 計算書	
				認定書等	認定書等活用	□ 認定書等の活用(第六面に記入)		

※1：長期使用構造等の併願申請を行わない場合は住宅仕様基準を用いることができます。

※2：等級7の場合のみ明示することができる。（地域区分の8地域を除く。）

※3：等級7の場合のみ明示することができる。（地域区分の1、2、3及び4地域を除く。）

自己評価書・設計内容説明書【一戸建ての住宅用（木造軸組・枠組壁工法）】　（第三面）

―必須項目―　基準：評価方法基準による　特認：特別評価方法認定による　認定：住宅型式性能認定による　認証：型式住宅部分等製造者の認証による

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
5 温熱環境・エネルギー消費量	5－2 一次エネルギー消費量等級 （　　）地域 ☐ 選択しない	等級 等級6、7、8の場合に表示をする設計一次エネルギー消費量及びエネルギー利用効率化設備による設計一次エネルギー消費量の削減率の表示値については設計内容説明欄と同様	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	適用する基準		☐ 非住宅・住宅計算方法 ☐ 住宅仕様基準 ※1　☐ 誘導仕様基準	☐ 仕上表 ☐ 計算書	評価員記入欄 ☐
				非住宅・住宅計算方法	外皮性能値	・ 外皮平均熱貫流率(UA値) ・ 冷房期の平均日射熱取得率(ηAC値) ・ 暖房期の平均日射熱取得率(ηAH値) ☐ 一次エネルギー消費量計算結果表による	☐ 面積表 ☐ 平面図 ☐ 機器表 ☐ 系統図	
					居室等の面積	・ 合計の床面積 ・ 主たる居室 ・ その他の居室 ☐ 一次エネルギー消費量計算結果表による	☐ 計算書 ☐ ☐	
					一次エネルギー消費量	・ 基準一次エネルギー消費量 ・ 設計一次エネルギー消費量 ☐ 一次エネルギー消費量計算結果表による ☐ 床面積当たりの一次エネルギー消費量の値を評価書に記載する ※2 （　　MJ/(m²・年)） ☐ 設計一次エネルギー消費量の削減率を評価書に記載する 売電分含む　（　　%） 売電分含まない　（　　%）		
					設備機器等の仕様	☐ 一次エネルギー消費量計算結果表による		
				住宅仕様基準	暖房設備	・ 暖房方式　（　　） ・ 暖房機器の仕様等 （　　）		
					冷房設備	・ 冷房方式　（　　） ・ 冷房機器の仕様等 （　　）		
					換気設備	・ 換気機器の仕様等 （　　）		
					照明設備	☐ 非居室に白熱灯または同等以下の性能の照明を採用していない		
					給湯設備	☐ 給湯熱源機の種類等　（　　）		
				誘導仕様基準	暖房設備	・ 暖房方式　（　　） ・ 暖房機器の仕様等 （　　）		
					冷房設備	・ 冷房方式　（　　） ・ 冷房機器の仕様等 （　　）		
					換気設備	・ 熱交換換気設備の有無　☐ 有　☐ 無 ・ 換気機器の仕様等 （　　）		
					照明設備	☐ 全ての照明設備がLED又は同等以上		
					給湯設備	☐ 給湯熱源機の種類等　（　　） ・ 所定の省エネ対策の実施 ☐ ヘッダー方式　分岐後配管径13A以下 ☐ 浴室シャワーの節湯水栓の使用 ☐ 高断熱浴槽の採用		
				長期使用構造等対応措置	一次エネルギー消費量に係わる適合等級	☐ 基準省令及び非住宅・住宅計算方法による等級が等級5以上 ☐ 誘導仕様基準(等級6)	☐ 平面図 ☐ 機器表 ☐ 計算書	

※1：長期使用構造等の併願申請を行わない場合は住宅仕様基準を用いることができます。

※2：等級6以上の場合のみ明示することができる。（地域区分の8地域を除く。）

自己評価書・設計内容説明書【一戸建ての住宅用（木造軸組・枠組壁工法）】

―選択項目―　基準：評価方法基準による　特認：特別評価方法認定による　認定：住宅型式性能認定による　認証：型式住宅部分等製造者の認証による

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	記載図書	設計内容確認欄
2 火災時の安全	2−1 感知警報装置設置等級（自住戸火災時） ☐ 選択しない	等級	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	感知警報装置	感知部分の設置場所等	基準に適合した感知部分の設置場所 ☐ 寝室　☐ 居室　☐ 台所等　☐ 階段等 警報を行う部分 （ ☐ 1mで70dB以上の警報音を1分継続可能　☐ その他同時 ） （ ☐ 居室を有する各階設置　☐ 階数が1 ） （ ☐ 150㎡毎設置　☐ 350㎡毎設置　☐ その他 ） （ ☐ ネットワーク化されている ）	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ ☐	評価員記入欄 ☐
	2−4 脱出対策（火災時） ☐ 選択しない ☐ 該当なし	設計内容説明欄と同様	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	脱出対策（3階以上）	避難器具の種類	☐ 直通階段に直接通ずるバルコニー ☐ 避難器具　☐ 滑り棒　☐ 滑り台 ☐ 緩降機　☐ 避難用タラップ ☐ 避難ロープ　☐ 避難はしご ☐ 避難橋　☐ 救助袋 ☐ その他（ ）	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ ☐	評価員記入欄 ☐
	2−5 耐火等級（延焼のおそれのある部分・開口部） ☐ 選択しない	等級	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	開口部の耐火性能（耐火性能が最も低いもの）	防火設備の仕様等	外壁の開口部の耐火性能 耐火時間　☐ 60分以上　☐ 20分以上　☐ その他	☐ 仕上表 ☐ 建具表 ☐ ☐	評価員記入欄 ☐
					認定書等活用	☐ 認定書等の活用（第六面に記入）		
	2−6 耐火等級（延焼のおそれのある部分・開口部以外） ☐ 選択しない	等級	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	外壁・軒裏の構造（耐火性能が最も低いもの）	外壁の構造等	外壁の耐火時間　☐ 60分以上　☐ 45分以上　☐ 20分以上　☐ その他	☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐ ☐	評価員記入欄 ☐
					軒裏の構造等	軒裏の耐火時間　☐ 60分以上　☐ 45分以上　☐ 20分以上　☐ その他		
					認定書等活用	☐ 認定書等の活用（第六面に記入）		
6 空気環境	6−1 ホルムアルデヒド対策（内装及び天井裏等） ☐ 選択しない	設計内容説明欄と同様	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	居室の内装の仕上げ材	使用建材	☐ 製材等　☐ 特定建材　☐ その他の建材	☐ 仕上表 ☐ 建材表 ☐ ☐	評価員記入欄 ☐
					ホルムアルデヒド発散等級	特定建材のうち最もﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ発散が大きい建材 ☐ F☆☆☆☆（等級3）　☐ F☆☆☆（等級2）　☐ F☆☆（等級1） ☐ 該当なし		
				天井裏等の下地材等	措置方法	☐ 換気又は気密措置による　☐ 使用建材による		
					使用建材	☐ 製材等　☐ 特定建材　☐ その他の建材		
					ホルムアルデヒド発散等級	特定建材のうち最もﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ発散が大きい建材 ☐ F☆☆☆☆（等級3）　☐ F☆☆☆（等級2） ☐ 該当なし		
	6−2 換気対策 ☐ 選択しない	設計内容説明欄と同様	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	換気対策	種類	☐ 機械換気設備 ☐ その他（ ）	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 計算書 ☐ ☐	評価員記入欄 ☐
				局所換気対策	便所	機械換気設備の有無（ ☐ 有　☐ 無 ） 換気のできる窓の有無（ ☐ 有　☐ 無 ）		
					☐ 該当なし			
					浴室	機械換気設備の有無（ ☐ 有　☐ 無 ） 換気のできる窓の有無（ ☐ 有　☐ 無 ）		
					☐ 該当なし			
					台所	機械換気設備の有無（ ☐ 有　☐ 無 ） 換気のできる窓の有無（ ☐ 有　☐ 無 ）		
					☐ 該当なし			
7 光・視環境	7−1 単純開口率 ☐ 選択しない	設計内容説明欄と同様	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	居室床面積に対する開口部の割合		単純開口率 （ %以上 ）	☐ 平面図 ☐ 建具表 ☐ 計算書 ☐ ☐	評価員記入欄 ☐
	7−2 方位別開口比 ☐ 選択しない			方位別開口部の面積合計の比		北面（ % 以上 ） 東面（ % 以上 ） 南面（ % 以上 ） 西面（ % 以上 ） 真上（ % ）		

自己評価書・設計内容説明書【一戸建ての住宅用（木造軸組・枠組壁工法）】

―選択項目―　基準：評価方法基準による　特認：特別評価方法認定による　認定：住宅型式性能認定による　認証：型式住宅部分等製造者の認証による

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
8 音環境	8－4 透過損失等級（外壁開口部） ☐ 選択しない	北面	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	開口部の遮音性能	北の方位のサッシ・ドアセット	☐ JISの遮音等級表示品　（　　） ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称　（　　） 透過損失の平均値　（　　dB）	☐ 平面図 ☐ 仕上表 ☐ 建具表 ☐ ☐	評価員記入欄 ☐
		東面			東の方位のサッシ・ドアセット	☐ JISの遮音等級表示品　（　　） ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称　（　　） 透過損失の平均値　（　　dB）	☐	
		南面			南の方位のサッシ・ドアセット	☐ JISの遮音等級表示品　（　　） ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称　（　　） 透過損失の平均値　（　　dB）		
		西面			西の方位のサッシ・ドアセット	☐ JISの遮音等級表示品　（　　） ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称　（　　） 透過損失の平均値　（　　dB）		
					認定等番号	☐		
9 高齢者等への配慮	9－1 高齢者等配慮対策等級（専用部分） ☐ 選択しない	等級	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	部屋の配置等	特定寝室の位置	特定寝室　（　　階、室名：　　） ☐ 基準に適合したホームエレベーターを設置 ☐ 特定寝室と同一階に配置すべき室等の基準に適合	☐ 平面図 ☐ 仕上表 ☐ 計算書 ☐ ☐	評価員記入欄 ☐
				段差	日常生活空間内	☐ 日常生活空間内の床が段差のない構造 適用除外の段差 ☐ 玄関出入口　☐ 玄関上りかまち　☐ 浴室出入口 ☐ その他の段差　（　　）		
					日常生活空間外	☐ 日常生活空間外の床が段差のない構造		
				階段 ☐ 階段無	勾配等	☐ 階段の勾配等の基準に適合		
					蹴込み	☐ 蹴込みが30mm以下 蹴込み板の設置　（ ☐ 有　☐ 無 ）		
					形式等	回り階段等の設置　（ ☐ 有　☐ 無 ） 通路等への食い込み、突出　（ ☐ 有　☐ 無 ） 最下段の通路等への突出　（ ☐ 有　☐ 無 ）		
					滑り防止段鼻 階段の幅員	滑り止め　（ ☐ 無　☐ 有、踏面と同一面 ） 段鼻の出　（ ☐ 有　☐ 無 ） ☐ 必要な階段幅員の確保		
				手摺	手摺の設置	☐ 階段　☐ 便所　☐ 浴室 ☐ 玄関（ ☐ 設置準備）　☐ 脱衣室（ ☐ 設置準備）		
					転落防止手摺の設置	☐ バルコニー　（ ☐ 手すりの設置　☐ 転落のおそれなし） ☐ 窓（２階以上）（ ☐ 手すりの設置　☐ 転落のおそれなし） ☐ 廊下及び階段 （ ☐ 開放なし　☐ 手すりの設置　☐ 転落のおそれなし）		
				通路等の幅員（日常生活空間内）	通路の幅員	☐ 通路幅員の基準に適合		
					出入口の幅員	☐ 玄関・浴室出入口の幅員の基準に適合 ☐ 玄関・浴室以外出入口の幅員の基準に適合 （ ☐ 工事を伴わない撤去等　☐ 軽微な改造 ）		
				寝室、便所及び浴室（日常生活空間内）	浴室の寸法	☐ 内法面積、短辺寸法の基準に適合		
					便所の寸法等	☐ 内法寸法の基準に適合 ☐ 便器と壁の距離の基準に適合 ☐ ドアの開放により確保　☐ 軽微な改造により確保 ☐ 工事を伴わない撤去等により確保 ☐ 腰掛け式便器を設置		
					特定寝室面積	☐ 特定寝室の内法面積の確保		

自己評価書・設計内容説明書【一戸建ての住宅用（木造軸組・枠組壁工法）】

―選択項目―　　基準：評価方法基準による　特認：特別評価方法認定による　認定：住宅型式性能認定による　認証：型式住宅部分等製造者の認証による

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
10 防犯	10－1 開口部の侵入防止対策 ☐ 選択しない	設計内容説明欄と同様	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	階	区分及び措置	区分a ☐ 侵入防止上有効な措置（ ☐ 雨戸等による対策） ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し 区分b ☐ 侵入防止上有効な措置（ ☐ 雨戸等による対策） ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し 区分c ☐ 侵入防止上有効な措置（ ☐ 雨戸等による対策） ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し	☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 建具表 ☐ ☐	評価員記入欄 ☐
				階	区分及び措置	区分a ☐ 侵入防止上有効な措置（ ☐ 雨戸等による対策） ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し 区分b ☐ 侵入防止上有効な措置（ ☐ 雨戸等による対策） ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し 区分c ☐ 侵入防止上有効な措置（ ☐ 雨戸等による対策） ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
				階	区分及び措置	区分a ☐ 侵入防止上有効な措置（ ☐ 雨戸等による対策） ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し 区分b ☐ 侵入防止上有効な措置（ ☐ 雨戸等による対策） ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し 区分c ☐ 侵入防止上有効な措置（ ☐ 雨戸等による対策） ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
				階	区分及び措置	区分a ☐ 侵入防止上有効な措置（ ☐ 雨戸等による対策） ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し 区分b ☐ 侵入防止上有効な措置（ ☐ 雨戸等による対策） ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し 区分c ☐ 侵入防止上有効な措置（ ☐ 雨戸等による対策） ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		

―認定書等―

性能表示事項	種別	番号	認定書等添付状況
	☐ 型式認定 ☐ 認証 ☐ 特認 ☐ 型式確認 ☐ 同等性証明		☐ 添付 ☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式認定 ☐ 認証 ☐ 特認 ☐ 型式確認 ☐ 同等性証明		☐ 添付 ☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式認定 ☐ 認証 ☐ 特認 ☐ 型式確認 ☐ 同等性証明		☐ 添付 ☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式認定 ☐ 認証 ☐ 特認 ☐ 型式確認 ☐ 同等性証明		☐ 添付 ☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式認定 ☐ 認証 ☐ 特認 ☐ 型式確認 ☐ 同等性証明		☐ 添付 ☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式認定 ☐ 認証 ☐ 特認 ☐ 型式確認 ☐ 同等性証明		☐ 添付 ☐ 表紙のみ添付